

# 『スープとイデオロギー』試写会

## 韓昌祐・哲文化財団も助成

東京・京橋で2日、梁英姫監督による新作映画『スープとイデオロギー』の制作関係者向けの先行試写会が行われた。同映画は、9月に韓国・京畿道で開催された「第13回DMZ国際ドキュメンタリー映画祭」の開幕作として上映され、最高賞であるホワイトグース賞を獲得した。

映画の製作にあたり、2017年に公益財団法人韓昌祐・哲文化財団から助成を受けた。日本では22年に劇場公開予定だ。

1948年4月3日、朝鮮共産党の後継組織である南朝鮮労働党(南労党)は、同年5月10日に控えた韓国初の選挙を妨害するため、暴動を起して警察署などを襲撃した。済州4・3事件は左翼勢力の歪曲によって、今なお歴史論争の対象となっている。



新作映画『スープとイデオロギー』のステールカットより©PLACE TO BE

映画のタイトルは、母が作る鶏のスープを象徴的に捉えたものだ。「考え・思想が違って一緒にご飯を食べよう」というメッセージが込められている。

2021年 10月6日 (水) 17

読 - 日 録